



当会へのご寄付をいただいた皆様
令和7年10月～12月 ※順不同、敬称略

ご寄付をありがとうございました。



寄付金

小川 幸雄 5,000円 / 広瀬 徳代 9,600円 / 豊島区ゴルフ協会 100,000円 / 豊島区グラウンド・ゴルフ協会 15,951円
東京よさこい大塚華麗 112,919円 / 東京三協信用金庫 100,000円 / NPO法人国際プリアー 100,000円
隈崎 達夫 1,000,000円 / 一般財団法人JCCP国際石油・ガス・持続可能エネルギー協力機関 13,200円
東京防犯健全協力会 200,000円 / 宗教法人真如苑 300,000円 / 株木建設株式会社・東京親政会 80,000円
高南クラブ 10,000円 / 伴 真由美 20,000円 / 合同会社KOD 25,000円

寄付物品

熊井 笑美子 毛布、バッグ / 鈴木 和子 布、ビーズ、綿 / 株式会社大塚商会 マスク
アンサンブルぶどうの木&えごのき 代表 加瀬 淳子 コンサートチケット

寄付をいただいた皆様(一部)



熊井笑美子様と寄付物品を受取る
ごみゼロアクション協会代表の
梅舟由佳様



株木建設株式会社・東京親政会様



東京三協信用金庫様



一般財団法人JCCP国際石油・ガス・
持続可能エネルギー協力機関様

豊島区民社会福祉協議会を代表し、副島常務理事が受け取りました

ボランティア入門講座

ボランティアに興味はあるけれど、きっかけが無い方、どんなボランティアがあるのか知りたい方などへ、おススメの講座です。活動している方のお話も聞けます。

開催日時 令和8年3月4日(水) 10:00～
会場 としま区民センター5階503会議室
対象 どなたでもご参加いただけます



地域福祉サポータースタート研修

地域の課題や取り組みについて学び、普段の生活の中で不安や悩みを抱えた人たちに気づき、声かけなどの活動をする方を募集します。

開催日時 令和8年3月6日(金) 10:00～
会場 としま区民センター6階601・602会議室
対象 18歳以上の豊島区在住、在勤、在学の方
(高校生不可)



問合せ 豊島ボランティアセンター 電話▶03-3984-9375 FAX▶03-3981-2946

単身化社会を考える地域フォーラム ～ひとりを、みんなで支える～

都内においても、特に人口に占める単身世帯率の高い豊島区。“身寄り”の問題に対峙する多様な関係者がつどい、区民一人ひとりの安心に向け、わたしたちにこれから何が出来るのかをともに考えます。

開催日時 令和8年3月10日(火) 14:00～16:30
会場 IKE・Bizとしま産業振興プラザ6階多目的ホール
対象 医療・介護・福祉関係者、民生児童委員、
法律専門職、関心のある方など
問合せ 権利擁護支援担当 電話▶03-3981-2940 FAX▶03-3981-2946



受付:3月3日メ切

基調講演
第1部 ～私たちは「身寄り」をどう捉えるか～
「身寄り力」への着目～
講師: 沢村 香苗氏 (日本総合研究所)
パネルディスカッション
第2部 ～身寄りのない方への支援の現状と必要とされる連携とは～
コーディネーター: 富永 忠祐氏 (弁護士)

広告募集

広告掲載の団体・企業等を募集しています。

規格 タテ約5cm×ヨコ約9cm 広告掲載料 50,000円
タテ約5cm×ヨコ約18cm 100,000円
問合せ 総務課 電話 03-3981-2930

広報紙のご感想、ご意見、地域情報などをお寄せ下さい。

問合せ 総務課
電話 03-3981-2930
MAIL chiiki2@a.toshima.ne.jp



古紙パルプ配合率60%再生紙を使用

広告

“不動産を売るとき”ってどうしたらいいの? 「不動産の上手な売り方無料個別講座」開催

2月16日(月)～3月31日(火)池袋で開催
参加無料・要予約 売却のノウハウを伝授

「三井住友トラスト不動産」では、不動産売買の悩みを解決するための無料個別講座を池袋駅の駅チカ会場で開催。当日は、不動産売買のノウハウを伝授。無料価格査定相談にも応じます◇とき…2月16日(月)～3月31日(火)午前10時～

午後5時【時間予約制・希望の日時を伝えてください】◇ところ…菊邑91ビル4階・池袋センター(豊島区東池袋1-41-6・地図参照)◇定員…各日3組(水・祝定休)◇費用…無料◇参加特典…「不動産売買ガイドブック」「不動産の税金&補助金ガイド」進呈(写真)◇講座事務局(池袋センター内)☎0120-11-9972(受付時間午前10時～午後5時)※個人情報提供は受け付けに利用します



地域福祉情報紙

この広報紙の発行には、赤い羽根共同募金の配分金が充てられています。

●2026年2月13日発行 ●138,000部発行

トモニ

第42号

豊島区民
社協だより



豊島区民社会福祉協議会とは

「社会福祉協議会」(略称:社協)は、社会福祉法により、全国・都道府県・区市町村に設置が定められた民間の福祉団体です。豊島区民社協は、区民の皆さんや福祉関係者・団体等と共に、福祉のまちづくりを目指して活動しています。

令和7年度 豊島区民社会福祉協議会 感謝状贈呈式レポート

令和7年12月12日(金)、来賓として、豊島区長、豊島区議会議長をお迎えし、感謝状贈呈式を行いました。
豊島区の地域福祉向上に貢献をいただいたみなさまをご紹介します。



受賞者の皆さま

社会福祉功労の部

寺田 晃弘 様 / 堀口 つき子 様
二重作 誠一郎 様 / 西村 敏男 様
長谷川 則之 様 / 武居 裕子 様
辻山 尚志 様 / 東 三千代 様
石原 裕 様 / 戸澤 佳子 様
津村 正信 様 / 重田 軍司 様
田島 裕 様 / 本山 美子 様
丸本 修一郎 様 / 峰岸 猛 様
遠藤 純子 様 / 村田 悦子 様
故片桐 昌英 様 / 故當麻 強 様
故清水 正博 様 / 故細川 博久 様
故西森 すみ子 様 / 故小村 幸子 様

会長特認功労の部

隈崎 達夫 様 / 永田 いで 様
千葉 光雄 様 / 台湾の姉 玉仙妃 様

寄付の部

東京よさこい大塚華麗 様 / 株式会社NEXER 様
東京三協信用金庫 池袋支店 様
東京防犯健全協力会 様
宗教法人真如苑 大塚支部 様 / 重林寺 様
ダイオーミウラ株式会社 様
公益社団法人全日本不動産協会 豊島・文京支部 様
明治安田損害保険株式会社 様
東京包装容器リサイクル協同組合 代表理事 戸部 昇 様
佐藤 千史 様
学校法人三幸学園飛鳥未来高等学校 池袋キャンパス 様
学校法人三幸学園飛鳥未来さずな高等学校 池袋キャンパス 様
株式会社ロフト 様 / すず音会 秋吉 恵美 様
株式会社元林 様
故中村 良子 様



授賞式の様子とインタビューを公式noteにて掲載中です!

様々な要因で恵まれない方のために「誠実」に使うて欲しいです。若い人たちに悪い人はいない、若い感性を大事にして欲しいです。

隈崎達夫さん (巣鴨在住)
医療法人社団恵智会
東京メディサイトクリニック
院長理事
日本医科大学 名誉教授
内科・放射線科

子ども食堂でもボランティアをしています、本当に困っている人に届けたいです。

北川龍之介さん
飛鳥未来高等学校
池袋キャンパス3年
ボランティア同好会会長

授与式に出席して、文化祭の売上が他の人の役に立っていると実感しました!

杉山陽夏さん
飛鳥未来さずな高等学校
池袋キャンパス3年
文化祭実行委員長

特集 子どもの居場所と学びを地域で支える学習支援 P2



発行元
社会福祉法人
豊島区民社会福祉協議会

〒170-0013
豊島区東池袋 1-39-2 豊島区役所 東池袋分庁舎 3・4階
TEL ▶ 03-3981-2930 FAX ▶ 03-5954-7105

特集

子どもの居場所と学びを地域で支える学習支援

地域で子どもたちを支え、育む取組みとして、「無料学習支援活動」があります。子どもたちが環境等に左右されず、学びやつながりを持てる場として、豊島区内でも様々な地域で活動が展開されています。
今回は、千早・千川・要町・長崎地区で活動を行う「まなびすたーり」を訪問し、代表の伊藤恵美子さんにお話を伺いました。

まなびすたーり

「伊藤さん〜ん」子どもたちが現れると、元気よく代表の伊藤さんに向け寄ります。

「まなびすたーり」は、11名の児童・生徒が通っており、週1回（水曜日※令和8年度から小学生は火曜日に変更）、小学生は区民ひろば千早、中学生は豊島北教会のスペースを借りて学習支援を行っています。

主に外国にルーツを持つ児童や生徒が中心で、日本人の子もあり、主任児童委員や民生委員・児童委員、その経験者、地域の方がボランティアで運営しています。

きっかけは、ネパール人児童との出会い

令和4年、主任児童委員として地域の児童と関わる中で、ネパール人の児童が西部エリアの小学校へ転校してきました。

まだ外国人児童も少なく、本人をはじめ、両親も日本語が得意ではありませんでした。それに加えて、父親は仕事で忙しく、赤ちゃんもいることから、日本語指導教室にも通うことができない状況でした。それを見て、「放っておけない」という気持ちから、この学習支援の取組みにつながり、2年余りが経過しました。



代表 伊藤恵美子さん

一人ひとりの課題が違う 子どもの居場所、成長のきっかけにも

週1回、宿題を中心にサポートを行っています。親御さんがなかなか宿題を見る時間が無い、日本語が不自由などの背景もあり、ここで宿題に取り組みます。漢字のつまずきや音読の違いを確認し、宿題が無いときは、別に用意をした教材を使って勉強をします。終わったら、遊びの時間が待っています。なるべくマンツーマンで、一定期間は同じスタッフが担当し、日本語が不得意でも、通い慣れてくると、みんなと遊ぶようになります。居場所としての安心感が生まれてきます。

そうした中で、困っていることがポロっと出て、相談事に至る場合もあり、新たな課題の発見につながります。

夏休みに、読書感想文に取り組み、自信をつけた子もいました。“子どもってすごいな”と感じ、心から大きな拍手を送りました。その日から学習に対する取組み方も変わってきました。

◀マンツーマンで宿題などを確認。
夏休みなどは日数を増やして対応します。



Story & Map

～このまちでみんなと生きてゆく～



地域でイキイキと活動するみなさんの“Story”に着目し、活動に対する想いや考えを取りあげていきます。今回は、大塚でパン屋を営む 関根由紀子さんをご紹介します。



せきね ゆきこ
関根 由紀子さん

「ななキッチン」

高齢者のための
誰でも食堂

「なないろ食堂」代表
(豊島区民社会福祉協議会会員)

パン屋さんを通じて生まれる

地域とのつながり

関根さんは、アレルギー対応パンの製造と販売を行う「ななキッチン」(豊島区南大塚)を営む、4児の母です。平成27年にパンとお菓子の教室(豊島区南池袋)として開業し、コロナ禍を機にパンの製造・販売へ転換しました。令和2年に現在の店舗を構え、今年6年目を迎えました。

「ななキッチン」の特色は、卵・乳不使用のアレルギー対応パンです。自身の子育て経験から、“みんなで同じものを食べられる場をつくりたい”と、アレルギー対応パンを保育園へ卸したり、栄養士へのアドバイスをされたりもしています。



放置されている状態が当たり前のこととして育ってほしくない

私たちとしては、外国ルーツの子どもたちも、同じ子どもとして権利が守られてほしいと思います。また、日本の子どもたちにも外国ルーツの子どもたちが放置される状態を当たり前として育ってほしくない。誰もが守られ、誰もが学び、遊べる環境が当たり前の地域で育ってほしいと考えています。

外国ルーツの子どもをサポートは、その子だけでなく、日本の子のためでもあります。子どもたちが、大人になって、共に「豊島区を支えていってくれる」その想いで活動しています。

学習支援の土台を広げる「地域の会」の活動も展開

このほかの活動として、学習支援の土台を広げ、学校教育への地域のサポーターを増やすために「地域の会」も運営しています。近年、区内の小中学校がコミュニティスクールへ転換するため、“私たちにも何かできないか”ということで勉強会を開催しました。

今年度は、算数の補習学習会(千早小学校)を行う「あおぞら学習会」を「まなびすたーり」が運営のサポートをしています。

「まなびすたーり」も参加している としま子ども学習支援ネットワーク

とこネット

とこネットは10周年

令和7年11月21日(金)に「としま子ども学習支援ネットワーク10周年イベント 豊島区のみんでつなげる・つながる学習支援」を開催しました。学習支援ボランティアからの活動報告や、実際に学習会に参加した5名の方にインタビュー形式で、学習会に参加したきっかけや参加してよかったこと、今後の夢などを話していただきました。70名を超える方が参加して、テーブルトークでは様々な意見が飛び交いました。

区内で展開されている学習支援の輪

とこネットのホームページでは、区内各所の学習支援の場に関する情報が掲載されています。
<https://www.toko-net.fun/>

とこネット 検索

豊島区内で無料学習支援等を行っている団体・行政機関等が参加しているネットワークです。子どもたちが安心していきいきと過ごせる場を提供し、環境等に左右されることなく、学びの機会を得られる地域であることを目指し活動しています。定例会(団体同士の情報交換)、研修や周知イベントなどを開催しています。



▲とこネット10周年イベントには大勢の方が参加

伊藤さんのインタビューの詳細、
とこネットについては、
公式 note に掲載中



活動の原動力は、“受けたご恩を何かで返したい”

関根さんは、地域の多くの方に支えられてきた経験から、“恩返しをしたい”との思いが強くなると思います。それが町会や商店街の活動につながり、お店で障がいのある方の実習の受け入れや、豊島区青少年問題協議会委員としての活動に結び付いています。

令和7年10月からは、これまでの食を通じた経験や地域活動の経験を生かし、高齢者のための誰でも食堂「なないろ食堂」(東池袋)を開始しました。知人や地域の熱意に押されたのがきっかけでしたが、実際に既に地域で誰でも食堂の活動をされていた方の取り組みを見聞きする中、参加者の方が楽しそうに食事をしている様子を見て、“私にもできるかもしれない”と感じ、実現に至りました。

これからは、子ども食堂にも挑戦し、“高齢者も子どもも垣根を越えてつながれる場を作りたい”と言えます。



▲「なないろ食堂」のスタッフのみなさん

ななキッチン

所在地 豊島区南大塚3-30-12
アキユキレジデンス1F
アクセス ●JR大塚駅(南口徒歩3分)
●サクラトラム(都電)
向原駅(徒歩3分)

関根さんの詳しい
インタビューは
公式 note に掲載中



高齢者のための誰でも食堂「なないろ食堂」

会場 地域交流スペース「つどい」
豊島区東池袋5-39-18
特別養護老人ホーム東池袋桑の実園1階

開催 毎月第1水曜日(予約制)
対象 65歳以上(参加費:400円)

Instagram



ななキッチン&なないろ食堂

問合せ先 050-3592-7711